

H30年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園		
所在地	奈良県生駒市俵口町2088		
指定管理者名	モンベル・あおはに共同体	指定期間	開始日 平成 26 年 7 月 1 日 終了日 平成 36 年 6 月 30 日
利用料金制適用区分	不適用	評価実施年	指定期間 10 年のうち 5 年目
選定方法	非公募		
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコートなど公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。		
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）、ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、研修室。自主事業＝レストラン（9月より占用事業）、売店）、市民対象イベントの実施		

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人		72,700	0.89	台風21号に伴う休業のため。
野外活動センター	人		36,516	0.66	台風21号に伴う休業のため。
ふれあいセンター研修室	人		12,144	0.74	台風21号に伴う休業のため。
ふれあいセンター浴場	人		63,412	0.81	ボイラー工事に伴う休業、台風21号に伴う休業のため。
テニス	人		21,077	0.83	台風21号に伴う休業のため。

3 事業収支

(千円)

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	287,092	251,088	275,191
指定管理料		170,122	170,122	170,122
利用料金収入	C			
自主事業収入		116,970	80,966	105,069
その他				
支出計	B	283,126	254,089	279,241
指定事業費		170,122	170,122	170,122
うち人件費	D	55,480	54,808	53,643
うち再委託料	E	50,580	50,274	53,745
自主事業費		113,004	83,967	109,119
事業収支	A-B	3,966	-3,001	-4,050
利用料金比率	C/A			
人件費比率	D/B	0.196	0.216	0.192
再委託費比率	E/B	0.179	0.198	0.192

補足説明（必要に応じて記入）

レストラン事業について、平成30年9月より自主事業から社会福祉法人青葉仁会占用事業へ変更。事業報告（実績）には占用事業の実績は含みません。

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果		意見内容等	対応実績等
		①トイレをはじめ各施設に虫が多い。 ②アスレチック遊具の難易度を下げて欲しい。 ③テニスコートネットのワイヤーがほつれている。交換して欲しい。	①トイレに害虫の忌避剤を設置した。 ②17番遊具および25番遊具に関して、より安全にお楽しみいただけるように遊具を改修した。 ③新品と入替を行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
平成30年9月よりレストラン事業を指定管理者構成団体である社会福祉法人青葉仁会の占用事業とした。そちらに併せて市と共催で都市公園と障がい者福祉シンポジウムを開催し、生駒山麓公園の新たな試みを全国に発信することができた。	
市の評価	
引き続き、社会福祉法人青葉仁会と協力しながら、公園活性化と障がい者就労支援等の充実に向けて取り組むこと。また、指定管理業務においても障がい者就労の場を徐々に広げており、今後も法令等を遵守しながら、障がい者の自立を目的とした支援を行えるよう創意工夫すること。	
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
基本協定書や関係法令等に基づいて設定されたルールに沿って運営を行った。各スタッフがお客様に対して同様の案内や対応ができるようルールや情報の共有に努めた。平成29年度に引き続き、申込者多数となるテニスコートの土日祝日の利用や生駒市委託キャンプ事業については、抽選会にて利用者を決定し、公平性を維持した。	
市の評価	
基本協定や法令等に基づき、施設利用許可等の運営を行うことができていた。今後は決められたルールがあることや、その中で施設運営を行うことについて、公園利用者に分かりやすい言葉で説明するよう努めること。	
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
利用者アンケートの結果より、85%以上のお客様が施設に対して”普通”あるいは”良い”という印象を持っており、満足度の高さがうかがわれる。お客様より他の利用者のマナーに対する苦情を多くいただいたが、すぐさま注意喚起文を掲示するなどとして、マナーの向上に努めた。	
市の評価	
”普通”ではなく、”良い”というアンケート結果を多くいただけるよう公園の活性化に向けて努力するとともに、生駒山麓公園に対して、公園利用者が求めていることを正確に把握できるようアンケート内容についても工夫すること。公園利用者のマナー向上は近年の課題であり、利用者間のトラブルが生じないよう未然に対策を講じること。ご意見等への対応については言葉遣いや職員間の情報共有などの体制について改善を求める。	
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
警備員の配置人数を見直し、大幅なコストダウンに成功した。台風により生じた多数の倒木について、可能な限り施設スタッフにて処理を行い、支出を最小限に抑えた。	
市の評価	
基本協定を順守しながら、適宜業務の見直しを図ること。また、例年、指定管理者職員による作業範囲は広げられており、経費の削減に努めていることは評価できる。	
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
ふれあいセンターに新たにフリーWi-Fi設備を導入し、お客様がより利用しやすい環境を整えた。加えて、パンフレットや配布用園内マップ、WEBサイトのリニューアルを行い、施設の魅力の発信に努めた。	
市の評価	
昨年度は自然災害の影響もあり全体的に収入増とはならなかったが、上記のとおり公園利用者の利便性向上や公園の情報発信に関して積極的に取り組むことができた。年間を通じて公園を利用してもらい、平均して収入を見込めるよう計画的に取り組みを進め、効果的かつ積極的なPRに取り組むよう求める。	
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
平成31年1月および2月に人員の入替があり、それを機に施設全体の職員の業務分担を見直し、業務の適正化をはかった。平成29年度に引き続き地域団体「いこま 里山クラブ」と連携し、園内林道の整備および森林の利活用を進めた。	
市の評価	
前年から引き続き、地域団体と協力しながら園内整備を行ったことは評価できる。また、施設の管理運営に関しては指定管理者従業員間の連絡体制や情報共有を強化し、より円滑に各業務を遂行すること。また、業務の遂行にあたっては基本協定や法令等を随時確認し、市民への説明責任を果たすとともに地域貢献や公民連携に努めること。	
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
野外活動センターにおいて、空き地にテントサイトを2区画新設し、受入人数を増加させることができた。繁忙期を除く週末には、プールにおけるカヤック体験や園内の自然を活かした秘密基地作りなどの体験プログラムを運営した。	
市の評価	
公園の施設や魅力を活かした自主事業を実施することができている。利用ニーズに合わせた事業を実施するとともに、既存設備をより魅力的なものにするための設備投資や改修を適宜行うこと。	

	<p><b>安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          個人情報を含む書類は勤務終了後に金庫にて保管し、破棄する際には必ずシュレッダーを利用した。緊急時の連絡および指示が迅速に行えるように、施設長および副施設長に業務用の携帯電話を支給した。加えて、災害時の初期対応・復旧作業がより速やかに実施できるよう災害対応マニュアルを新たに整備した。</p> <p>市の評価          個人情報が含まれる施設利用申請・許可が業務の中心となるため、引き続き個人情報の取り扱いには注意すること。災害対応マニュアルについては市と共有し、災害状況に応じた判断・行動がとれるように予め起こりうる状況について想定しておくこと。</p>
	<p><b>サービスの安定的な提供（安定性）</b></p> <p><b>事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          公園全体の老朽化が進み、修繕工事等に多額の費用が必要となっている。そのため、指定管理料内の修繕料だけでは施設の維持が困難となってきている。安定的な事業継続のためには修繕料の増額が不可欠だと考える。野外活動センターについては、設備投資の回収ができていないため、利用料金の値上げについて市と協議した。</p> <p>市の評価          老朽化している施設について緊急を要しない場合は、修繕すべき施設の現状を把握して優先順位を設けること。また、基本協定に準じて市と協議しながら修繕を進めること。野外活動センターについては利用料金の値上げに応じて、適宜、設備への投資、改修を行うこと。</p>
	<p><b>社会福祉施設に準じた評価</b></p>
	<p><b>施設の設定目的の達成（有効性）</b></p> <p><b>施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          公園内整備等業務やレストラン業務、厨房内での調理業務また、アスレチック受付等の生産活動を通じ、障害のある方それぞれの状況にあった福祉支援(生活介護、就労移行、就労継続)を提供している。これらの生産活動で得る工賃や活動機会は社会の一員として役割獲得に繋がっている。</p> <p>市の評価          障害福祉サービス利用者の社会参加促進に向け、個々の状況にあわせた支援を実施していただくことで、安定した生活を送ることができていることについては評価している。今後も引き続き、きめ細やかな取り組みを行うとともに、生駒市民の利用者の増加や地域貢献、公民連携に努められたい。</p> <p><b>利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          障害の種別や程度に合わせた福祉サービス内容や専門的な支援を継続して提供している。そのため、3名の障害者が一般就労に結びつき、また、県内外の特別支援学校から利用の問い合わせが多数あり、事業所見学にも多数の当事者、家族が参加された。</p> <p>市の評価          県内外の特別支援学校への案内や体験の受け入れ等、利用者増加に向けた取り組みを進められていることについては評価している。今後も引き続き、軽度から比較的重度の利用者まで幅広く障害福祉サービスを提供できるよう一層の環境整備に努められたい。</p>
	<p><b>適正な施設の管理運営（適正性）</b></p>
	<p><b>施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          充実した福祉支援の提供のために、法定職員配置数以上の職員を配置し、きめ細やかな対応を心掛けている。また、職員の支援技術向上のために、外部研修や専門講師を招いた内部研修を積極的に行っている。地域との連携として、飲食提供品の一部に地元産の原料、加工品を使用したり、イベントを実施している。</p> <p>市の評価          職員配置数の増加や研修等の充実を図り、障害福祉サービスの質の向上に努めていただいていることについては評価している。今後も引き続き、市内福祉事業所との連携を密にする等、支援体制の強化に努められたい。</p>
	<p><b>安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）</b></p> <p>指定管理者による自己評価          福祉サービス利用者の個人情報に関しても、個人情報保護法に則った管理を徹底し、不備なく実施している。また、傷病等発生時について協力医療機関との連携や、対応マニュアルを整備している他、これらの記録や運用する職員研修など実施している。</p> <p>市の評価          個人情報の取扱については、生駒市個人情報保護条例等の規定を遵守し、適切な管理を実施していただいていることについては評価している。今後も引き続き、事故発生時の対応等について、マニュアルに基づき、定期的な研修・訓練等を実施し、内容の評価・見直しに努められたい。</p>

6 指定管理者の財務の状況

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産	4,004,695	4,265,557	3,903,696
流動資産	465,083	828,494	536,027
固定資産	3,539,612	3,437,063	3,367,668
負債	167,933	507,857	143,469
流動負債	167,933	507,857	143,469
固定負債			
純資産	3,836,765	3,757,700	3,760,226
資本金			
売上高	1,390,162	1,376,054	1,372,279
経常利益	201,108	-49,395	32,981

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自己資本比率 純資産/資産×100	95.8%	88.1%	96.3%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	4.4%	13.5%	3.8%
固定比率 固定資産/純資産×100	92.3%	91.5%	89.6%
流動比率 流動資産/流動負債×100	276.9%	163.1%	373.6%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	92.3%	91.5%	89.6%
総資産回転率 売上高/資産×100	34.7%	32.3%	35.2%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	5.0%	-1.2%	0.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
台風や落雷等の災害による大きな打撃を受けた1年であった。市と協力し、施設の復旧作業を比較的速やかに完了できたため、売上や利用者数への影響は最低限にとどめることができたと考えている。今回の災害で被害を受けた設備は主に老朽化が進んだものであったため、今後は施設の営業の可否に関わる設備を中心に、予防保全に努めたい。今年度刷新したWEBサイトによる施設情報の発信に加え、今後は学校団体や企業向けの営業活動を積極的に行い、新規顧客の獲得による施設利用者および売上の増加をはかりたい。そのように公園施設全体の利用促進をはかることが、施設への新たな障がい者就労の場の設置や施設の活性化につながると考えている。
市の評価
近年増えている自然災害への対応として、起こり得る状況を想定し、その状況となった際の施設管理者としての判断・行動を事前に決めておくこと。設備の保全に関しては法定・日常点検を適切に実施し、その結果に応じて、適宜市と協議し進めていくこと。花の植栽による活性化事業も含めて生駒山麓公園の魅力を様々な方法で創出、周知し、行楽シーズンや繁忙期のみならず、年間を通して常に来園者が訪れるよう公民連携で利用促進に取り組むとともに、地域貢献活動に積極的に取り組むこと。